

(東三河地域内関係人口創出事業)  
～担い手不足になっている地域資源の保存・活用等の事例を活用した  
関係人口創出実証実験 実施報告～

## 歴史・文化、スポーツ、草刈りに関する 関係人口創出のための実証実験のご紹介



令和6（2024）年3月

愛知県東三河総局企画調整部企画調整課

## 【はじめに ～本報告書の趣旨～】

愛知県内でも先行して人口減少がすすむ東三河地域では、人口減少や高齢化により地域づくりの担い手が不足し、生活環境や歴史文化、産業等の維持・発展に、大きな影響を及ぼしています。

そこで、2021年12月に東三河ビジョン協議会が策定した「東三河振興ビジョン2030」に基づき、当地域に新たな魅力と価値を創造することを目的に、東三河地域内における新たな関係人口の創出を進めてきました。

令和5年度は、地域特性をふまえて「歴史・文化」「スポーツ」「草刈り応援（地域環境）」の3つのテーマを設定。担い手不足で地域資源の保存や活用が難しくなっている現場に東三河地域内から担い手をマッチングし、地域課題解決や新たな価値創出のための実証実験にチャレンジしてきました。そこで得られた成果や課題を、本報告書でご紹介させていただきます。

関係人口をとりいれた地域活性化に向けた取組のヒントとして、ぜひご活用ください。



---

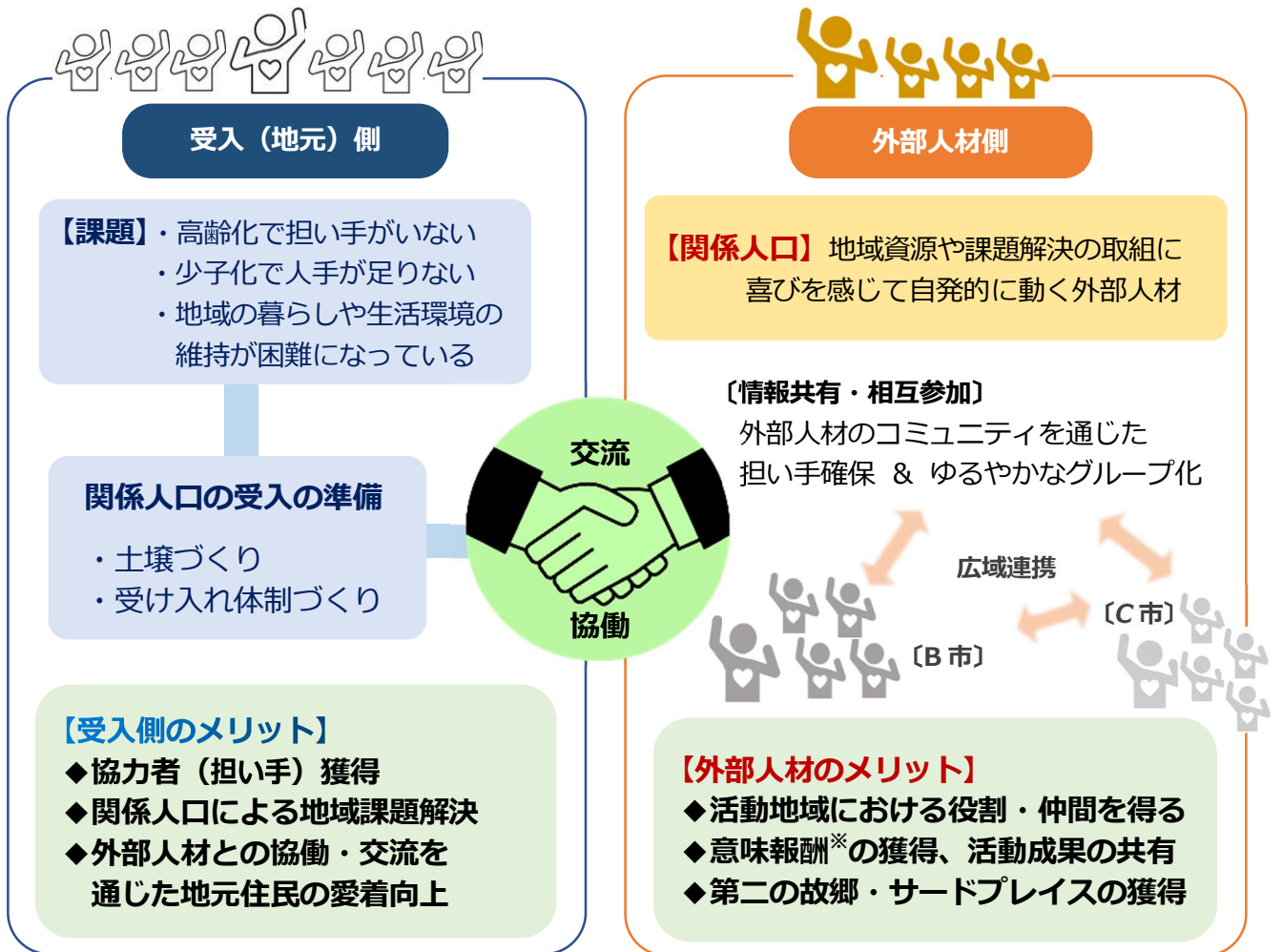
### 〔目 次〕

<b>I 令和5年度 実証実験の実施概要</b> .....	3
<b>II 各テーマの実証実験の結果</b> .....	4
テーマ1. 「歴史・文化」ボランティア .....	4
テーマ2. 「スポーツ」ボランティア .....	6
テーマ3. 「草刈り」応援隊 .....	8
<b>III 実証実験で得られた成果と課題</b> .....	10

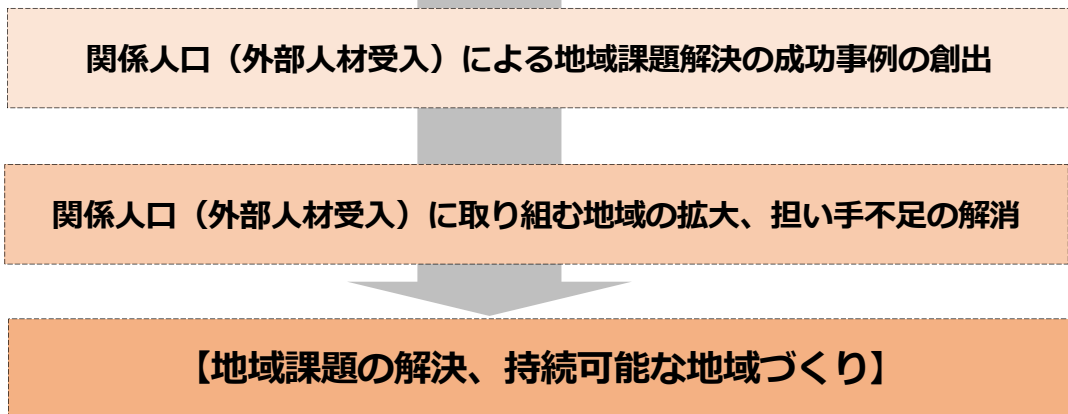


※関係人口とは ～関係人口を活用する意義やメリット～（令和4年度 先進事例集より）

人口減少・高齢化による地域づくりの担い手不足という課題に対し、「関係人口」が注目されています。地域外部の人材が、地域づくりの担い手として地域の人々と多様に関わる「関係人口」の取組は、受入側には地域課題の解決、外部人材には楽しさややりがいが見られ、お互いにメリットが生まれます。関係人口の取組は、地域資源の活用や磨き上げにつながり、地域の魅力も高まります。



※賃金（経済報酬）とは異なり、自己のモチベーション・社会貢献度・自己成長など形のない報酬。



# I 令和5年度 実証実験の実施概要

## 1. テーマ…「歴史・文化」「スポーツ」「草刈り」

- ・今年度は、実証実験の初年度として、東三河地域の地域特性やニーズ・課題、マッチングの可能性などを考慮し、具体的に「歴史・文化」「スポーツ」「草刈り」の3つのテーマを設定しました。
- ・東三河地域内の自治体や地域団体からの情報提供などをもとに、実証実験（研修含む）の受入や協力が可能な活動・地域を抽出してリストアップしました。

## 2. 対象…東三河地域内の事業所・大学・市民団体等

- ・新聞記事や WEB 情報などをもとに、地域課題解決や地域貢献活動への関心が高く、実証実験への参画・協力が期待される東三河地域内の企業や経済団体、大学、市民活動・ボランティア支援団体等を抽出しました。

＜事業所 14、経済団体 7、大学 2、市民活動・ボランティアセンター 8、スポーツ協会 4、歴史・文化関連団体 7＞

## 3. 募集方法… WEB や DM ・個別訪問で参加者募集&マッチング

- ・上記の対象団体等に対して、実証実験の開催案内チラシをメールで配布するとともに、関心の高い事業所や大学等には直接訪問し、個別に趣旨説明及び参加依頼を行いました。
- ・個人向けには、「彩り、よりどり 東三河」や「愛知県交流居住センター」の HP や SNS などを通じて参加者募集。
- ・さらに、「おいでん・さんそんセンター（豊田市）」の集落活動応援隊や「三河の山里サポートデスク」の三河の山里集落活動応援隊への DM 送付を行い、参加者募集（マッチング）を行いました。

## 4. 実施状況 及び 参加者数…

テーマ	実施時期及び回数	参加者数 (のべ)
歴史・文化	・令和5年8月～12月にかけて計11行事を実施	(新規) 73名
スポーツ	・令和5年9月～10月にかけて3回の研修を実施	20名
	・令和5年10月～令和6年1月にかけて東三河地域内外の12のスポーツ行事に自主参加	12名
草刈り	・令和5年10月～12月にかけて2回の研修を実施	10名
	・令和5年11月～令和6年1月にかけて東三河地域内外の10の草刈り等環境整備に自主参加	11名

## II 各テーマの実証実験の結果

### テーマ1. 「歴史・文化」 ボランティア

#### (1) 背景

- ・様々な歴史の舞台となってきた東三河地域には、昨年大河ドラマ「どうする家康」の放映を契機に話題になった古戦場や城跡などの戦国時代を中心とした史跡が豊富な地域にあります。
- ・花祭りをはじめとする伝統芸能などの文化財も数多く受け継がれています。さらに渥美半島エリアには貝塚も数多く史実を変える新たな発見もされています。
- ・しかしながら、こうした歴史文化資源の保存・保全活動を行っている団体・組織の中には、過疎化・高齢化を背景に担い手不足が課題になっている団体・組織も少なくないのが現状です。
- ・地域内関係人口が担い手となり、これらの資源の保全や魅力の向上を図るため、東三河地域内の8市町村の歴史・文化担当者が集まり、令和5年2月から「歴史をテーマにした東三河関係人口創出検討会議（歴史検討会議）」がスタートし、東三河8市町村による歴史関連のボランティアを活用したイベント等について情報交換がなされました。



#### (2) 実証実験 実施概要

- ・この会議にて、関係人口となるボランティアを募集したい歴史保存等の活動を抽出し、計11の行事を対象としました（下表参照）。
- ・東三河地域を中心に歴史愛好家の個人や団体に対して参加者（関係人口）を募り、保存・保全活動を協働によって行う実証実験を行いました。新規参加者は73名ありました。

No	主催団体	日時	行事
1	豊橋市	毎月第2火曜日	豊橋市文化財サポーター
2	豊川市	9月毎週土曜、10月21・29日	赤坂の舞台歌舞伎公演のための小屋掛け作業
3	元気城山	9月10日	設楽城整備活動
4	豊橋市	9月23日	とよはしシンポジウム
5	豊川市	9月23・24日	天平ロマンの夕べ
6	三河古宮城址保存会	10月14日	古宮城整備活動
7	蒲郡市	10月18日	「清田の大クス」環境管理事業
8	田原市	10月21日	吉胡貝塚史跡整備
9	田原市	11月11日	保美貝塚環境整備
10	豊橋市	12月2日	石巻古墳ウォーク!
11	設楽原をまもる会	12月9日	設楽原決戦場馬防柵修繕



### (3) 主な活動の様子

#### ◆10/21 赤坂の舞台歌舞伎公演のための小屋掛け作業の様子



#### ◆12/9 設楽原決戦場馬防柵修繕の様子



### (4) 主な成果と課題

#### <成果>

- \* 歴史好きの方が、東三河地域内にとどまらず、名古屋市内や三重県、静岡県、新潟県などの遠方からも来訪し、草刈りや林内清掃に楽しく汗を流していた。リピーターもみられた。
- \* 設楽原決戦場馬防柵修繕では23名ものボランティア（関係人口）参加者があった。
- \* 受入側の地元関係者と、歴史談義に目を輝かせながら楽しく清掃等の作業をしている様子が見られた。歴史資源の保全・保存の取組に、わざわざ足を運び手弁当で楽しみながら参加する歴史愛好家層が少なからず存在していることが明らかになった。
- \* 地元関係者もいきいきと楽しそうに活動する様子が伝わってきた。関係人口が参加することで、シビックプライドの醸成につながる可能性が高い。

#### <課題>

- \* 受け入れを希望する地域や活動と、参加・協力を希望する歴史愛好家等が、手間暇をかけずに相互に情報共有し直接マッチングできるような仕組みづくりが求められる。
- \* 歴史資源の保全活動が、歴史愛好家をターゲットにした着地型の体験型観光事業の可能性を示唆する感触が得られた。

## テーマ2. 「スポーツ」ボランティア

### (1) 背景

- ・東三河地域は、豊かな自然に恵まれ、サイクリング、ランニング、ハイキング、トレッキング、サーフィンなど様々なアウトドアスポーツが盛んな地域です。
- ・国内最大級の大会「新城ラリー」や「RALLY 三河湾 2024」、「奥三河パワートレイル」や「DA MONDE TRAIL」までの各種トレイルランニング、三河健康マラソンやとよね・みどり湖ハーフマラソンといったランニング、トライアスロン（アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島）、ウォーキングなどの多様なイベントも開催されています。
- ・こうしたスポーツイベントは、準備や当日の会場運営などを行う多くのボランティアによって支えられています。スポーツイベントの意義や楽しさに共感し、“意味報酬”を求めて地域内外から多くのボランティアが集まり、盛り上げているようなスポーツイベントもみられます。
- ・「DA MONDE TRAIL」では、イベントの企画・運営側に参加しながら楽しむことを大切にして、ボランティアや出店、観覧など多様な参加の機会を設けています。その結果として、多くの関係人口を創出しています。

### (2) 実証実験 実施概要

- ・東三河地域で既に多くの関係人口に支えられて運営している新城市の「DA MONDE TRAIL」を題材にして、スポーツボランティアを養成し、実際にボランティア参加にトライアルする実証実験を行いました。
- ・はじめに、スポーツボランティアを知ってもらうために、2023年9～10月にかけて2回のスポーツボランティア研修会（①基礎講座・当事者との交流／②交通誘導・イベントガイダンス）を開催しました。
- ・次に、実際に「DA MONDE TRAIL 秋」でスポーツボランティアを体験しました。経過と参加者数は以下の通りです。



～8月		9月	10月	11～2月頃
準備・募集		スポーツボランティア研修会（2回）		スポーツボランティア実証実験
企画調整	宣伝・募集 ※市町村のスポーツ協会・体育協会や主要企業等	① 地域を知ろう。スポーツボランティアを知ろう！9/24	② 交通誘導警備とダモンデトレイル秋のガイダンス 10/8	三河健康マラソン（2月）やとよね・みどり湖ハーフマラソン（11月）等への展開
		ダモンデトレイル秋へのトライアル参加 10/22		

No	日時	行事	参加者数
1	令和5年9月24日	スポーツボランティア研修（その①）	9名
2	10月8日	スポーツボランティア研修（その②）	6名
3	10月22日	ダモンデトレイル秋	5名

合計 20名



### (3) 主な活動の様子

#### ◆9/24 研修会その①（基礎講座）、10/8 研修会その②（交通誘導等）の様子



#### ◆10/22 ダモンドトレイル秋へのトライアルボランティア体験の様子



### (4) 主な成果と課題

#### <成果>

- \* 養成講座にのべ 15 名、トライアル体験「ダモンドトレイル秋」へ 5 名参加。さらに、研修受講後は、「豊川シティマラソン」や「ニューイヤー駅伝中部北陸予選（田原市）」などをはじめ東三河地域内外のスポーツイベントにのべ 12 名が関係人口として活躍した。
- \* 研修に参加した蒲郡市職員が、学んだノウハウを生かして「パワステがまごおり（1/21 蒲郡）」の運営を行い、46 人のボランティアを確保するなど広域への広がりを見せた。
- \* 【価値創造・自己実現】の要素をもつ「スポーツ」というコンテンツが、関係人口としての参加・協力の動機付けとなり、満足度が高いことが明らかになった。
- \* 関係団体の実務的なレクチャーや演習、先輩ボランティアの体験談など、当事者からの研修の満足度が高く、人材確保・育成や関係人口創出に効果的な手法であることがわかった。

#### <課題>

- \* 限られた告知方法及び期間で行ったため、周知・集客が十分ではなかった。参加する意義や効果・メリットを感じてもらえるような働きかけや、的確なターゲット設定（年齢・地域・志向）による未活動層の掘り起こしが課題である。



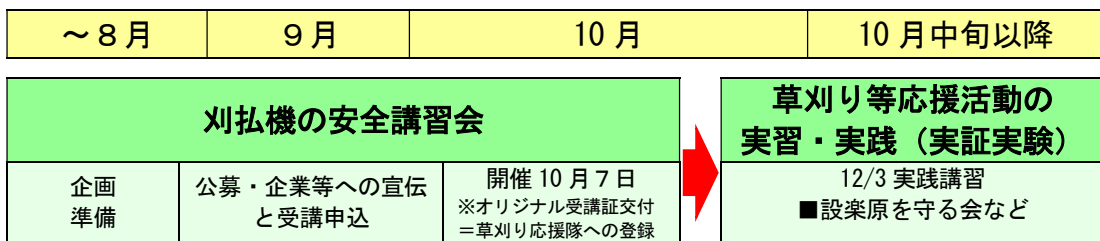
### テーマ3. 「草刈り」応援隊

#### (1) 背景

- ・少子高齢化と人口減少を背景に“人の空洞化”が東三河地域においても進んでいます。こうした中、地域の自治活動や環境保全活動などが衰退している地域も増えています。中でも、草刈り等の共同作業の実施や地域のお祭り・行事の運営などが地域住民だけでは困難になっています。
- ・地域の人口・世帯数の絶対数が減少する“人の空洞化”が進行すると、地域の農地や森林の荒廃化する“土地の空洞化”が起こります。また同時に歴史・文化の継承といった「資源管理機能」の後退と地域住民のお互いに助け合って暮らしていく「生活扶助機能」の後退を招き、“むらの空洞化”をもたらします。さらに、人・土地・むらの3つの空洞化が進むと、地域住民のあきらめ感の蔓延や地域に対する誇りの喪失といった“誇りの空洞化（心の過疎化）”を引き起こすことが考えられます。
- ・こうした負のスパイラルにならないようにするためには、まずは“土地の空洞化”を招かないようにすることに注力していくことが求められています。そこで、東三河地域の多くの地区・集落の共通課題となっている草刈り等の共同作業の実施や地域のお祭り・行事、環境保全活動等の継続的な運営に着目し、それを関係人口によって支えていく仕組みとして「草刈り応援隊活動」を実証実験のテーマとして設定しました。

#### (2) 実証実験 実施概要

- ・草刈り応援隊の参加者募集にあたり、10月に設楽原歴史資料館にて「刈払機の安全講習会」を開催。新城で森林保全に取り組む「NPO 法人森林真剣隊」10名程度のご協力を得て実施しました。
- ・実践者から安全対策等の講義や正しい操作方法を学習。さらに、実際の竹や灌木の伐採を体験。刈払機の構造などを実地で学びました。最後に、受講者に修了書を授与して講習会は終了しました。
- ・その後、実践講習（12/3）、他地域の活動へ展開しました。経過と参加者数は以下の通りです。



No	日時	行事	参加者数
1	令和5年10月7日	刈払機の安全講習会	6名
2	12月3日	刈払機の取り扱い実践講習	4名

合計 10名

### (3) 主な活動の様子

#### ◆10/7 刈払機の安全講習会の様子



#### ◆12/3 刈払機の取り扱い実践講習の様子



### (4) 主な成果と課題

#### <成果>

- \* 2つの講習の参加者は少人数であったが、アットホームな雰囲気の中できめ細かな講習会の運営を行うことができ、講習の受入体制に応じた適性規模を見直す機会となった。
- \* 受講者の満足度は全般的に高く、特に実践講習の充実感・満足感が高いことが確認できた。
- \* 「保美貝塚史跡整備」や「設楽原決戦場馬防柵修繕」などに参加した受講者もあり、受講して得られたスキルをボランティアに活かしていく志向性が確認された。「刈払機の安全講習会」や「刈払機の取り扱い実践講習」を開催する意義を見出すことができた。
- \* 両講習会の開催には、指導者や刈払機が必要であることから、NPO法人森林真剣隊の協力を得て実施した。経験豊富な当事者の指導は的確かつフレンドリーで好評を得た。

#### <課題>

- \* 宣伝が十分でなかった点や東三河地域が草刈りを日常的に行う生活圏であることなどから、参加者は少人数にとどまった。
- \* NPO法人森林真剣隊は設立後20年近く経過する中で、メンバーの高齢化が進んでおり、組織の若返りが大きな課題となっていることが明らかになった。



## Ⅲ 実証実験で得られた成果と課題

### 1. 成果

#### 【成果①】 一定規模で存在する愛好家層や社会課題関心層を確認

【価値創造&自己実現】の要素をもつ歴史やスポーツ、【社会貢献&地域課題解決】の要素が強い草刈りの取組が、いずれも**ボランティア活動へ積極的な参加意向を持つ「関係人口」となりうる愛好家層や関心層が一定規模で存在**することがわかりました。

#### 【成果②】 社会実験を通じた関係人口創出（社会実装）

受入側との交流や協働作業を通じて、**地域資源の保全・活用をささえる担い手「関係人口」を実際に創出**することができました。

#### 【成果③】 観光・交流コンテンツとしての可能性を把握

歴史やスポーツなどの【価値創造&自己実現】のテーマにおいて、広域からの**観光・交流コンテンツとしての「地域資源の保全・活用」の可能性**を把握することができました。

#### 【成果④】 当事者から 現場から学ぶことの意義・効果

関係人口創出にむけた人材確保やマッチングにおいて、「**当事者との対話」「現場での演習・体験**」による研修が**効果的な方法**であることが明らかになりました。

### 2. 課題・展望

#### 【課題①】 ターゲットに応じた効果的な PR・マッチング

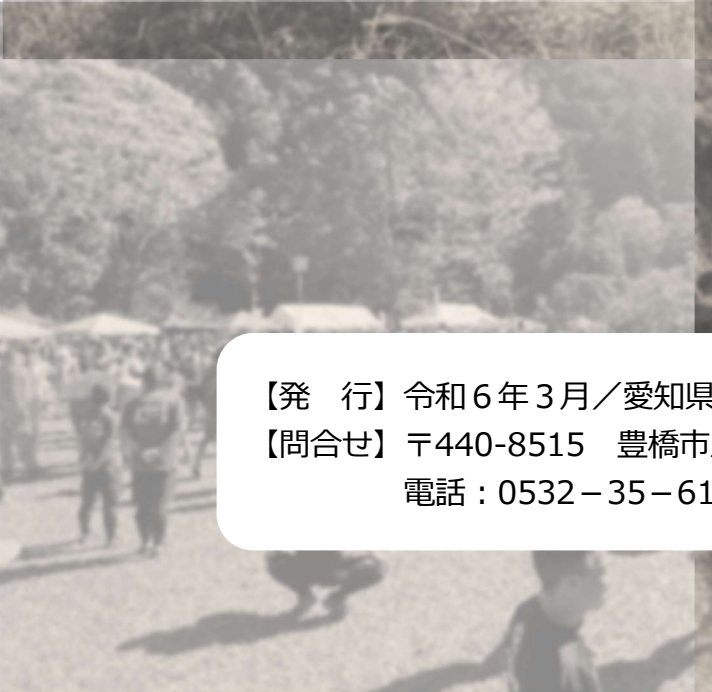
テーマに応じた**的確なターゲット設定**（年齢・地域・志向）とともに、**効果的な周知・集客や、事業所や大学等とのマッチングの仕組みづくり**による、未活動層の掘り起こしが求められます。

#### 【課題②】 受入側の合意形成と負担軽減

関係人口（ボランティア）を受け入れることの**意義や効果などを受入側が理解し合意**するため、先進地域の**成功体験を他の地域に伝える**とともに、**事前準備や当日の活動の簡素化**が求められます。

#### 【課題③】 信頼関係の構築と意味的報酬の付与

参加したボランティアを継続的な関係人口へと発展させるために、**受入側と参加者の交流を通じて信頼関係を構築し、参加・貢献することの意義や効果を伝えて『意味的報酬』を共有**していくことが求められます。



【発行】 令和6年3月／愛知県東三河総局企画調整部企画調整課  
【問合せ】 〒440-8515 豊橋市八町通五丁目4  
電話：0532-35-6110、FAX:0532-54-5120